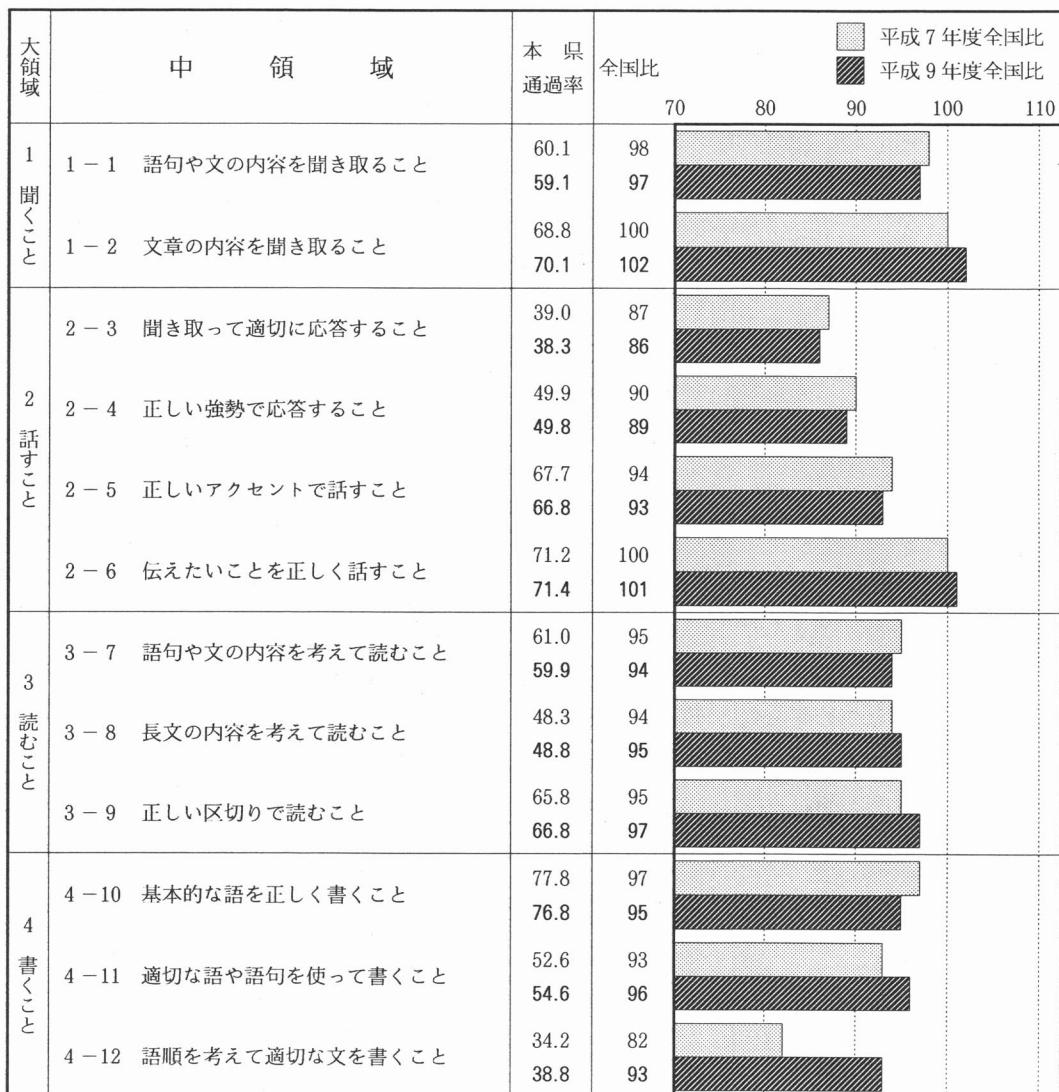


(3) 「中領域」別に見た通過率と全国比



① 今回の調査では、「1-2 文章の内容を聞き取ること」、「2-6 伝えたいことを正しく話すこと」の2つの中領域が全国平均を上回っている。しかし、「2-3 聞き取って適切に応答すること」、「2-4 正しい強勢で応答すること」は、全国比90未満である。

② 前回と比べると、12の中領域中、大部分の中領域の到達状況には大きな変化が見られない。しかし、「4-12 語順を考えて適切な文を書くこと」は、全国比が11ポイント上昇している。

(4) 授業改善に向けて

今回の調査において、「話すこと」の力の育成が

必要であることが明らかになった。指導に当たっては、「音声から文字へ」の順序を基本にして、コミュニケーションが必要とされる言語活動をさせ、その中で、生徒が英語を「学びながら使い」、「使いながら覚える」ような工夫をしたい。特に、「話すこと」の指導においては、「聞くこと」と関連させた指導を工夫し、指導をより総合的なものにしたい。さらに、3年間を見通して、どの学年でどのレベルまで達成させるのかを明確にし、段階を追って指導できるような対応が望まれる。

そこで、ここでは「話すこと」の大領域から、全国比が低い小問を例にとり、考察し、その領域に関する指導の要点について述べる。